

## 第2回審議会での意見交換の概要について

	・再編にあたり最も重視すべきこと	・それ以外に留意すべきこと	・学校再編の進め方 ・その他
会長	・統廃合は致し方ない ・チルドレンファースト ・通学路の安全性 ・小中は別に考える	・規模が大きくなって弊害が出ないように（上限にならない配慮） ・小規模すぎると教職員が少なく人が足りない	
副会長	・何のための審議会か、子どもたちの教育環境 ・通学の足の問題	・なぜいまやるのかという説明 ・丁寧に説明し理解を得る ・市の教育は市民が決めるくらいの気持ち、雰囲気醸成	・学級数の適正規模をベース ・それぞれが積極的に場に出ていって話をする
委員	・統合と同時に学区も見直す ・学校の選択肢を与える ・地域の理解	・学童保育の充実 ・下校時や学童保育終了後の安全確保	・昔の村の学校はなくしたくないという思いが強い
委員	・親や生徒への説明	・住民への説明	・勉強以外の部分、特に部活動に支障がある学校は統合を検討 ・子どもたちの平等であるべき機会を奪っている ・クラス替えは行うべき
委員	・できるだけ環境の良い、多くの子どもがいるところで学ばせたい ・統廃合はやむを得ない ・スクールバスとか何らかの通学手段が確保できれば、反対はしない		
委員	・子どもの立場に立つ ・集団を作り得る規模	・一小一中の問題（小と中で児童生徒が変わらない） ・中学にあがるときに小学校が分割されないように ・通学における安全性	・市全体の計画を立てた後に、一次二次と進めていく
委員	・適正規模だけにとらわれない ・通学距離の拡大による影響 ・スクールバス等の整備 ・分校で低学年と高学年を分けるのもありか	・災害避難拠点としての機能 ・周辺住民のことも考慮	・保護者や市民の意見をよく聞き入れること
委員	・再編がなぜ必要なのか、子どもたちの教育環境 ・登下校時の安全性は不可欠	・再編の必要性について、保護者や地域への説明 ・納得できる答えをできるだけ用意 ・災害避難の拠点	・統合にあたって全体を見直す ・どの校舎を使うのか
委員	・登下校時の安全性 ・環境変化による子供への影響	・避難所としての安全性 ・青少年相談員の選出	・早急に対応すべきところは早急に ・一次二次で間に見直しを入れながら進める
委員	・単純に人数が多ければよいという問題ではない ・小規模校の良さも踏まえて適正な規模を考える	・災害時の避難場所 ・どの校舎を使うか	